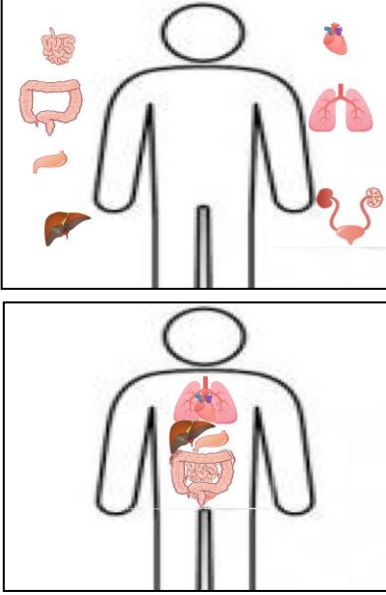
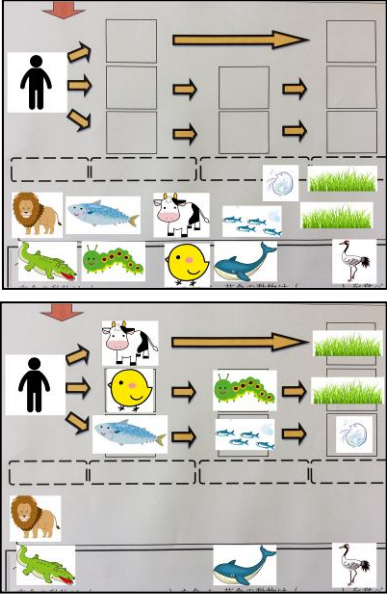


◆「食物連鎖」について考えよう

<p>1 対象児童生徒（対象学級）の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル機器に興味を持っている。 ・場面緘黙のため学校内では声を発さない児童がいる。 ・肢体不自由のため、具体物の操作が困難または時間がかかる児童がいる。
<p>2 指導目標（児童生徒同士の人間関係の形成やコミュニケーションの促進に係る目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての生物は食物連鎖の関係で繋がっていることを理解する。 ・タブレット端末を使いながら、自分の考えを表現することができる。
<p>3 取組の中心となる教科・領域等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科（人や動物の体・生物の暮らしと環境）
<p>4 使用したアプリ、周辺機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Keynote：並び替えができるようなスライドを作成し児童で相談しながら取り組めるようにする。
<p>5 指導の経過及び児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間を守りながら、集中して取り組むことができた。 ・タブレットを操作することで自分の意見を表現することができた。 ・児童二人で意見を出し合い、話し合いながら作業を進めることができた。 ・自分からタブレットの操作をしようとする等、主体的に取り組む姿が見られた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>（スライドの具体例）</p> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column;">  </div> <div style="display: flex; flex-direction: column;">  </div> </div>
<p>6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードの操作に比べて指先だけで簡単に操作ができ、肢体不自由の児童にとっても負担が少ない。 ・挿入する画像を入れ替えることで、色々なパターンで学習することができる。 ・いくつかの選択肢を提示することで、児童が考えやすくなった。 ・人数分ではなく2人に1つのタブレットを用意することで、1つのタブレットで意見を共有しながら協働して学習に取り組むことができる。